

特許出願中

店舗単位の“伝えたつもり”から  
個人単位の“確実な伝達”へ

店長の力量に左右されない、全店一律の「**実行力**」を仕組みで実現



店舗向けの情報共有では、こんな課題はありませんか

- 店舗で誰が指示を確認したか本部からは確認できず、店長任せ
- 施策の初日に「聞いてません」と店舗スタッフに言われる
- 店長によって、スタッフへの伝え方がバラバラで店長にお任せ
- 全店舗向けに注意喚起をしたのに、また同じミスが発生している

# 本部から店長への連絡手段は豊富にあります。 では、現場スタッフへの周知はどうしていますか？

確立された伝達手段がないために、店長がアナログな手段で  
なんとか現場へ繋いでいる。そんな無理な運用が続いていませんか？



これらの煩雑なフォロー業務だけで毎日これだけの店長の時間が奪われています

## 仕分け・印刷・掲示

30分



朝礼内容の整理、印刷・掲示、期限切れの差し替えなど  
日々、煩雑な事務作業が発生

## シフトごとの朝礼

30分



既読状況が把握できないため、出勤スタッフ全員へ  
同じ説明を繰り返す二度手間が発生

## とりあえず店長に聞く

30分



情報が整理されず、店長への質問が集中  
接客指導や数値管理といったメイン業務の妨げに

店長一人あたり

# 年間72万円

相当の

## 人件費が各店舗で発生しているかもしれません

※時給2,000円、週5日で換算

# 人件費のロスだけではなく。店長依存が引き起こす **リスク** も…

## 「待ち」姿勢による生産性の低下



指示待ちスタッフの増加は現場の停滞を招く。  
待ち時間の増加は生産性低下に直結

## 判断基準のバラつき



口頭伝達のムラは理解の差を生む。誤った情報による  
不適切な接客は顧客の信頼を損なう。

## 緊急時の初動の遅れ



紙や電話では周知に時間がかかる。情報の遅れが  
対応ミスを招き、被害を拡大させる。

## ノウハウの属人化



店舗内のルールや連絡は明文化されておらず  
ベテランに属人化

## 問題が再発しやすい



認識の範囲が不明確では反省ができない。  
原因が曖昧なままでは同じミスを繰り返す

## 売上機会の損失



朝礼不参加のスタッフに施策が伝わらず  
本来獲得できたはずの売上機会を逃してしまう

店長が常に現場にいなくても、スタッフ自身が情報を取得し  
「今、何をどう判断すべきか」を確認できる仕組み作りが必要です。



とはいえ、店舗での仕組み作りは難しいですね…

全員にスマホやPCを配れない  
難しいシステムは現場で使ってもらえない

だからこそ、小売の現場に合った **新しい情報共有の形** が必要です

店長の手を借りない、新しい情報共有ツール

# スタッフサイネージ

がこれまでの課題を解決します



出勤したら、まず確認

## POINT

店舗にスタッフサイネージが最適な**3つの理由**

1

### 本部から直接現場スタッフへ伝達できる

店長を介さず、直接現場スタッフへ指示連絡ができるため  
店長の力量に関わらず、均一の情報周知を現場に行える

2

### 超・簡単操作

画面をタッチするだけのシンプルな操作だけ  
ITリテラシーに左右されず、全従業員が平等に利用できる

3

### 共有端末1台でOK

個人スマホやPCの支給は一切不要  
1台の共有端末で運用できるため、機材コストを大幅に抑制

# 確認も配信も、直感的に使えるシンプルな操作性

## お知らせを確認する

タッチ操作だけで誰でも簡単チェック！ ※画面はイメージです



出勤したら自分の名前をタッチ



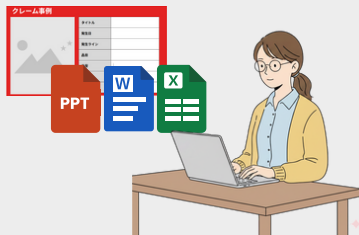
自分宛のお知らせを確認する

かんたん操作！



## お知らせを配信する

印刷・掲示より簡単に情報周知を実現し、マネジメントを効率化！



お知らせの作成、登録



宛先、期間を設定して配信

名前	お知らせ	ToDo
伊藤	90%	100%
鈴木	50%	40%
川谷	75%	0%
増田	30%	90%

配信後は既読状況をチェック

## 様々な業務をサポートできるように充実した機能を搭載



### みんなで既読チェック

複数人が同時に確認しても既読状況を正確に記録



### アンケート

研修の出欠確認や支給品のサイズをかんたん集計

AI搭載



### 自動翻訳

文章を自動翻訳し外国人スタッフにも確実に周知

AI搭載



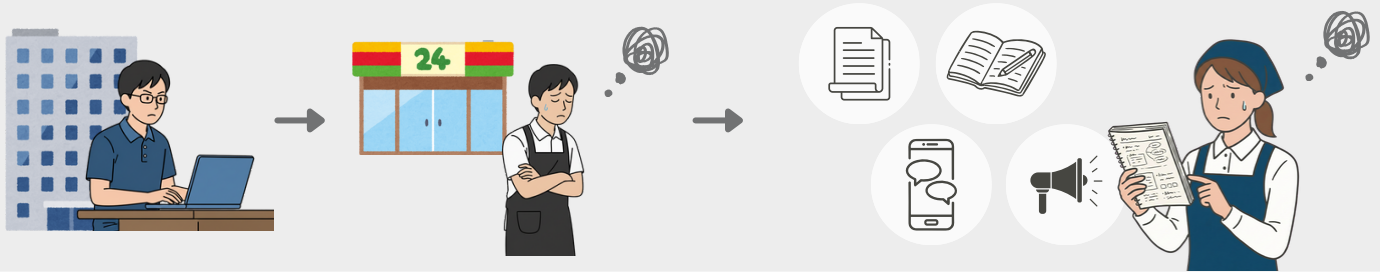
### 理解度チェックテスト

お知らせの内容に沿ったテストを自動生成し理解度を可視化



## 課題 店長スキルに依存した、バラつきのある店舗運営

口頭や紙の伝達は店長の負担増と伝え漏れを誘発。  
情報にアクセスできない現場は指示待ち化し、生産性の低下を招く。



## 導入後 本部の意志が、直接現場に浸透する仕組みに

本部から全スタッフへ直接配信。既読状況の可視化により  
店長の力量に頼らず 組織の末端まで“確実に届く”仕組み を構築する。



店長は他の業務に  
注力できる

	BEFORE 店長依存の情報伝達	AFTER 本部から直接現場への連絡
施策の浸透率	50%	<b>90%</b> 仕組みで伝達漏れを排除
店長の事務負担	毎日60分超	毎日 <b>10分</b> 自店舗独自の連絡のみ作成・掲示
朝礼の拘束時間	1回10分×3回	<b>5分</b> 短縮/回 重要なお知らせのみ口頭通知
印刷コスト	月160枚	月 <b>10枚</b> 常時掲示が適した情報は『紙』

※数値は実際の導入事例および、一般的な店舗運営状況に基づく算出モデルです。効果は店舗規模や運用ルールにより異なります

## 他システムとの違い

汎用的なチャットやグループウェアは利便性が高い一方、**情報へのアクセス性**や**個人の既読管理**には限界があり、多店舗運営における指示の徹底には適さないケースもあります



私用チャット



グループウェア  
メール



スタッフサインージ

利用端末	個人のスマホ	共有のPC	<input checked="" type="checkbox"/> 専用端末1台で共有完了
既読の記録	開いた瞬間に既読	誰か1人が見たら既読	<input checked="" type="checkbox"/> 個人別の既読を完全記録
情報へのアクセス性	ログに流れて埋没	能動的に探す手間	<input checked="" type="checkbox"/> “今日の情報”に集約
心理的負担	業務時間外の通知がストレスに	PC操作への苦手意識・不安	<input checked="" type="checkbox"/> 簡単操作・職場で完結

## タブレット1台・コストの抑制・個人単位の確実な統制

店長依存を脱却し、本部の意志を確実に届ける。だから、スタッフサインージが選ばれています。



### よくあるご質問

#### Q. 費用体系を知りたい

設置するタブレット台数（タブレット用アカウント数）に応じた課金体系です。  
端末1台につき1つのアカウントを利用します。**現場の人数が多い拠点でも定額**でご利用いただけます。  
詳細な料金プランは、お気軽にお問い合わせください。

#### Q. どんな機材が必要？

タブレットやPCなど、ブラウザアプリを利用できる機材をご用意ください。  
スタッフがいつでも確認できるよう、他の用途には使わない「**専用機**」としてのご利用を推奨します。

#### Q. インターネット環境の無い場所でも利用できますか？

スタッフサインージはクラウド型サービスのため、**インターネット接続が必須**です。  
恐れ入りますが、オフライン環境やオンプレミスサーバーには対応していません。

## 🔧 ご利用に必要なもの

現場スタッフが直感的に操作できるように、タッチ対応機材を推奨していますが非対応のディスプレイの場合、マウス操作でもご利用頂けます



## 🔧 システム構成

インターネットが接続できる環境であればどこからでも利用できます  
お知らせ作成者、確認者ともにブラウザアプリ（Chrome、Edge、Safari等）を利用します



## 🏠 セキュリティ対策

通信の暗号化やアクセス権限管理など、万全のセキュリティ対策を実施しています  
クラウドサービスの情報セキュリティに関する国際規格 **ISO/IEC 27017** を取得しています

- 🔒 管理画面はID・パスワードによる認証を採用し、不正アクセスを防止
- 🔒 特定のネットワークからのみ接続可能なIPアドレス制限に対応
- 🔒 Windows Helloを利用した二要素認証により、なりすましリスクを低減

## FREE 無料トライアル実施中

「自社のスタッフでも使いやすいのか?」「どんなお知らせを配信できるのか?」  
そんな疑問にお応えするため、1か月間 無料でお試しいただけるトライアルをご用意しています。

初期設定代行 &  
操作説明会付き



スムーズに開始できるよう  
サポートします

専用タブレット  
を貸し出し



届いたらすぐに  
利用できます

電源とネットワーク環境を  
ご用意ください



ご都合のよい現場で  
ご利用ください

事例のご紹介・機能の詳細は  
製品サイトからご確認ください

スタッフサイネージ 🔍



開発会社 **TechnoFACE**  
株式会社テクノフェイス

TEL : 011-242-6606

Mail : ss-info@technoface.co.jp

札幌市中央区北1条西3丁目3番地数島北一条ビル6階

<https://staffsignage.technoface.co.jp/>